

## 平成30年度第1回 胎内市総合計画等審議会 議事要旨

### 1. 日時

平成30年7月6日（金）18：00～19：50

### 2. 場所

胎内市役所 2階大会議室

### 3. 出席者

#### 【胎内市総合計画等審議会委員】

松村孝市委員、中野友美委員、今本啓介委員、田中幸二委員、瀬賀和之委員、朝妻真美委員、伊藤祐太委員、長濱一彦委員、近満寿彦委員、板谷越隆俊委員、安城守英委員

#### 【事務局】

総合政策課長、商工観光課長、総合政策課企画政策係長、係員

### 4. 議事内容

事務局より資料に沿って説明を行った後、事業の評価について各委員から発言。主な発言内容は下記のとおり。

#### >にいがた魅力アップ・定住促進事業について

○企業見学バスツアーだが、2名が採用に至ったとあるが、参加者はどのくらいか。

〔定員を20名として設定しており、8月が14名、2月が20名の参加と事務局回答〕

○インターンシップについてだが、農業法人や生産組織では後継者が非常に不足している。経営者の年齢層が高くなっており、経営者側から積極的に手を挙げてくることは少ないと思っている。できれば行政側から、「外部から後継者を募集しては如何か」という提案をしていただけるとありがたい。また、バスツアーについても農業に限定したものを検討いただけるとありがたい。

○インターンシップについて、山手側では農業の後継者不足が問題となっている。この問題について話し合える男子学生の参加を希望したい。

〔来年度以降相談させていただきながら計画を立てていきたいと事務局回答〕

○新潟食料農業大学が開校したが、卒業する学生の扱いはどのように考えているのか。県外からも入学してきていると思うが、卒業後市内などで活躍する場はあるのか。

〔山間部の地域とつながっているいろいろな体験をしているし、三八市に学生が出店したり、ワイナリーに興味を抱いて自ら関わりを持っている学生もいたりしている。現在の取組を進める中で胎内市の魅力を感じていただき、できれば卒業後定住してもらいたいという希望はあると事務局回答〕

○企業見学バスツアーだが、他の方々はどのような理由で成果につながらなかったかを検証できるような仕組み、例えば申込時に半年後・1年後に状況の調査をする等に同意をもらっておくなどすれば今後の展開も幅広くなるのではないか。

〔できる範囲でということになるが、対応していきたいと事務局回答〕

#### >新発田DMO活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくりについて

○こういった取組は長いスパンで考えていくことが必要。現在日本産の農産物が海外で受けていることから、もっと海外に目を向けていってほしい。

○野沢温泉スキー場などでは半分以上が海外の方だったりして、なぜこれだけ多くの方が訪れるのかという、毎回来ている方が口コミ発信をして、それを見た人が訪れるというような口コミによる誘客が進んでいるということでもあるようだ。市にはスキー場もあることから最初のうちは実績につながらない部分もあろうかと思うが、招待するなどして積み重ねていってほしいと思うので検討いただきたい。

〔そのようにはしていきたい。ただし、料金の折り合いなどの部分もあることから協議をしていきたいと事務局回答〕

○負担金 200 万円だが、全体事業費はどのくらいか。

〔3つの取組で構成されており、おおよそ 3400 万円ほどの事業。一つが輸出促進で 794 万円・新発田市のみ事業、DMO 関係が 1300 万円、このうち 100 万円を負担、誘客促進が 1300 万円、このうち 100 万円を負担していると事務局回答〕

○稼ぐということからすると、客のことを考えるのが最も大切。4P戦略のプロモーション・宣伝・アピールの部分をどのようにやっているのか。この評価を見ているとプロモーションが弱いのではないかと感じる。例えば、SNSであったとしてもただ載せれば良いというものではなく、効果的に届けられる方法について多少お金をかけてでも行うべき。

〔いただいたご意見は3市町が集まる場で話をさせていただこうと思うと事務局回答〕